

謹賀新年 本年もよろしくお願いたします。

日本骨髄バンクの現状（2003年12月末現在）

	11月	12月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,116	1,998	180,720	227,943
患者登録者数	153	156	2,396	15,448
骨髄移植例数	65	39	-	5,305

注) 数値は速報値のため

訂正されることがあります。

1 骨髄バンク患者負担金が税金控除対象に。確定申告用領収書を発行

平成15年の所得控除経費として、患者さんの負担金が医療費控除の対象になりました。昨年の1月から12月までの間に、当財団へ実際に支払われた患者負担金額が税金控除対象となります。患者・家族の皆さまには、近日中に確定申告用の領収書を当財団からお送りいたします。控除を受けるには、毎年2月16日～3月15日までの確定申告期間に、財団領収書、その他の医療費控除対象分の領収書等を添えて、所轄税務署への確定申告（還付請求）が必要です。なお、医療費控除の対象には、医療機関へ支払った自己負担分（保険での返金分を除く）、差額ベッド代、紙おむつ代などの費用、通院交通費などがあります。治療に伴う医療費の合計額10万円以上（200万円未満の所得の場合は5%）分を医療費控除額として確定申告すると、所得税・住民税の還付が受けられます。くわしくは前述の確定申告用領収書が届いてから、税務署の相談窓口へご確認ください。

2 2003年の年間移植件数は730例、ドナー登録者数は2万3216人

昨年の骨髄バンクの年間骨髄移植件数は730例。前年の758例に比べ28例の減少で、事業開始から初めて年間移植数が対前年割れとなりました。一方、さい帯血移植件数は前年に比べ倍増の570例と急増しています。新規の年間ドナー登録者数は、各地関係者の皆さまのご尽力により、2002年の2万2802人に比べ、414人多い2万3216人の実績となりました。今年もさらなる移植件数増加、登録者拡大に努力してまいります。

3 来年度の骨髄バンク関連政府予算案決定、当財団の国庫補助金増額

当財団の国庫補助金は、今年度4億4千万円から約1千万円増の4億5千万円となりました。内訳は、コーディネート活動経費として約8千万円増額の3億3千万円（コーディネート迅速化、効率化等体制強化のため）普及広報活動経費として約2千万円増の6千万円 低所得者対策費は約1千万円増の5千万円。なお、コーディネート情報管理システム改変費等（9千万円）は15年度で完了しました。

日本赤十字社への骨髄データバンク登録費としては、7億5千万円が計上されています。この予算には、ドナー登録検査におけるより詳細なレベルのHLA型の結果を得るため、また検査の集約化を図るために、血清学的検査からDNA検査への移行にともなうデータ管理システム構築費用等も含まれています。

4 12月のドナー登録状況

12月のドナー登録者数は1998人、取消者数は676人、実質増加数は1322人で前年同月の登録者数の71.3%と12月が推進月間だった昨年度よりも下回る結果となりました。登録会は100回実施され(うち献血併行型は90回)、登録者数は合計950人(登録者の47.5%)。石川12回、沖縄11回、愛知10回、新潟9回、京都8回、東京7回、福島、富山、兵庫5回など各地で活発に開催されました。献血併行型登録会では、献血者の約1割が骨髄ドナー登録の目安になっていますが、沖縄では20人を超える登録会もありました。集団登録会は、山梨は1回で46人、愛知でも33人の登録者があり、神奈川では100人超の登録会がありました。鳥根では患者さん周辺の呼びかけによって、登録会、固定窓口へ足を運んだ100人以上の方が登録されています。

- * (お詫び) 前号の記事中「新潟では、30万人のドナー登録目標にあと一歩に迫っています」について、目標の30万人がもうすぐであるかのような表現とのご指摘がありました。30万人の目標登録者数を各都道府県のドナー登録可能な人口比率に基づいて配分した場合、新潟県の目標登録者数に登録者実数があと一歩というところまで近づいているという主旨でしたが、説明が足りず結果として誤解を生みましたことを心よりお詫び申し上げます。
- * 登録会告知用ポスターをリニューアルしました。今年も各地の登録会でご活用ください。

5 国際協力の現状・バンクを介して2回提供された方・DLI実施状況

国際協力事業の状況

		2003.10 ~ 12				~ 2003.12末
海外ドナーから国内患者へ		登録患者数	適合患者数*	コーディネート数	移植数	累計移植数
NMDP(米国)	日本	12	10	10	1	95
BTCSCC(台湾)		12	5	7	0	18
KMDP(韓国)		14	4	3	0	11
計		38	19	20	1	124
国内ドナーから海外患者へ		登録患者数	適合患者数	コーディネート数	提供数	累計提供数
日本	NMDP(米国)	36	11	16	0	4
	BTCSCC(台湾)	0	0	0	0	0
	KMDP(韓国)	79	44	54	8	90
	その他の国**	/	/	/	0	14
計		115	55	70	8	108

* 1人でも適合したドナーが見つかった患者の数。

** その他の国は累計のみ掲載します。提供内訳は香港6件、英国2件、オランダ1件、オーストラリア1件、ブラジル2件、ドイツ1件、ベルギー1件。

骨髄バンクを介して2回提供された方(累計数) 135人
DLI(ドナーリンパ球輸注)療法の実施件数(累計数) 86件

6 財団各委員会開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局までお申込みください。

	公開・非公開	開催予定	
臨時理事会・評議員会	公開	1/23(金) 15:00~17:00	廣瀬ビル4階会議室
データ・試料管理委員会	公開	1/24(土) 15:00~18:00	廣瀬ビル2階会議室
常任理事会	公開	2/21(土) 14:00~16:00	廣瀬ビル2階会議室